

様式13

会派視察研修計画書

令和5年12月22日

碧南市議会議長 様

会派名 慧政クラブ

代表者名

林田 要

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	林田 要、藤浦伸介	
日時	令和6年1月19日（金）～令和6年1月20日（土） ※林田議員は1月19日（金）のみ（日帰り）	
視察先	株式会社JERA（東京都中央区）、豊洲市場（東京都江東区）	
研修内容	（株）JERA「エネルギーを取り巻く状況とJERAの取組みについて」 豊洲市場「市場開場後の賑わいについて」	
日程	1日目 碧南中央駅～名古屋駅～東京駅（宿泊） 2日目 東京駅～新橋（JR）、新橋駅前～豊洲市場（都営バス） 豊洲市場～新橋駅前、新橋～東京駅～名古屋駅～碧南中央駅	
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関利用 乗降車駅名（碧南中央、名古屋、東京、新橋、豊洲市場）	<input type="checkbox"/> 自家用車利用____台 所有者名（_____）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

様式14

会派視察研修報告書

令和6年 2月 14日

碧南市議会議長 様

会派名 慧政クラブ
代表者名 林田 要

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2人分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	林田 要、藤浦伸介
日時	令和6年1月19日（金）～ 令和6年1月20日（土）
視察先	株式会社JERA（東京都中央区） 豊洲市場（東京都江東区）
研修内容	株式会社JERA 「エネルギーを取り巻く状況とJERAの取組み」 豊洲市場 「市場開場後の賑わいについて」
視察先面会者 又は講師名等	株式会社JERA 常務執行役員 大藪浩志氏ほか3名 豊洲市場 管理課課長代理 望月健志氏
備考	株式会社JERAは2名、豊洲市場は1名（藤浦のみ）参加

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 6年 2月 14日

議員氏名

林 田 愛

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 6年 1月 19日（金）
- 2 視察先 (株) J E R A（東京都中央区）
- 3 視察の種類 慧政クラブ会派視察研修
- 4 視察の成果等

碧南市における世界経済への影響力をもつ拠点の一つに株式会社 J E R A の碧南火力発電所がある。平成 3 年に 1 号機の運転開始からすでに 30 年余を過ぎ、現在は 5 号機まで敷地内にて稼働している。出力合計は 410 万 kW であり、世界最大級の発電力を誇っている。今回の会派視察は、志政会の議員各位と合同で東京にある J E R A 本社へ赴き、中部電力から J E R A へと移行後の世界戦略を直接うかがうことが目的である。これまで、碧南火力発電所からは所長自らの議会訪問の他、数回にわたり碧南火力発電所のこれまでとこれからのお話しをうかがってきたが、J E R A 全体の世界戦略については未知のものであった。そんな世界の一端が碧南市に存在することと合わせて、今後の議員活動の糧としたい。

J E R A の説明は前段で日本をとりまく G X、エネルギーの状況を、後段でゼロエミッション 2050 と掲げた J E R A としての取り組みについて説明いただいた。

まず前段では 2023 年末の C O P 2 8 における G S T、その他新たな基金設立の採択などについて説明をいただいた。省エネ発電量、省エネ改善率の倍増を目標とする他、ゼロ・低排出技術の重要性も明記されたとのこと。これら C O P 2 8 の採択を受けて、国においては G X 実現に向けた方向性が明確となり、分野別投資戦略として水素、原子力、次世代再エネ、C C S などの説明をいただいた。その他、先行投資支援として 20 兆円規模の内容、カーボンスライシング構想の説明もいただいたが、一回聞く限りでは詳細まで理解が及ばない箇所が多く、自身の知識不足を嘆いた。

後段として、それら前段の説明による世界の状況を踏まえた J E R A としての取り組みについて説明をいただいた。2050 ゼロエミッションを大目標として、再生可能エネルギーとゼロエミッション火力の相互補完、国と地域に最適なロードマップの策定、スマートトランジションという 3 点のアプローチが中心である。2035 年次を目標に国内事業からの C O 2 排出量を 2013 年比 6 割減、2050 年次を目標に国内事業における C O 2 ゼロといった非常に難しい目標を掲げていることを説明いただいた。

それらの実現のために、現在、碧南火力発電所にて進められているアンモニア発電の導入と意義について改めてご説明いただいた。何よりも将来的に再エネ由来のグリーン水素を活用していくという点において、碧南市の地域活性化につながる大きな影響を感じることができた。

全てを当報告に記すことは不可能ではあるが、これからも継続して地元発電所における世界的な意義のある事業を応援するとともに、多くの市民に知ってもらうための支援を議員としての務めの一つと認識した。

視察研修成果報告書

令和6年2月14日

議員氏名 藤浦 伸介

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和6年1月19日（金）～令和6年1月20日（土）
- 2 視察先 (1) 株式会社JERA（東京都中央区）
 (2) 豊洲市場（東京都江東区）
- 3 視察の種類 慧政クラブ 会派視察研修

4 視察の成果等

- (1) 1月19日（金）13:00～14:30 株式会社JERA

「エネルギーを取り巻く状況とJERAの取組み」

自分自身は昨年度、同社に同じ件名で視察研修を行ったが、この1年間における国の動向を踏まえた企業の取組みを学んだ。新しい情報としては、昨年11月30日から12月13日にドバイで開催されたCOP28にて決定されたグローバル・ストックテイク（GST）において、各国ごとに異なる道筋を考慮した分野別貢献（再エネ発電容量3倍・省エネ改善率2倍のほか、ゼロ・低排出技術等における取組み）が明記されたことや、ロス&ダメージ基金を含む新たな資金措置の制度の大枠に関する決定が採択されたことなど。また、企業としては、碧南火力4号機において、アンモニア20%での実証試験後、2020年代に商用運転を開始する計画など、世界最先端の取組みでありながら、我々にとっては立地する自治体として大変興味深い話も聞くことができた。今後、碧南火力を拠点として、大規模なアンモニアサプライチェーン

を構築するといった、インフラ整備が行われることになるが、環境面に配慮しながら進捗状況を見守りたいと思った。

(2) 1月20日(土) 10:00~11:00 豊洲市場

「市場開場後の賑わいについて」

豊洲市場は平成30年10月開場後、5年が経過した。主だった建物として、水産の仲卸店舗が集まる、豊洲市場で一番大きな建物の「水産仲卸売場棟」、マグロなどの水産物のせりをはじめとした取引が行われる「水産卸売場棟」、野菜や果物などの青果物を扱う卸売場と仲卸売場の「青果棟」、都のPRコーナーや飲食店などがある「管理施設棟」の4つがある。業者のみならず、市場が開いている日は朝5時から夕方5時まで誰でも訪れることができ、観光的な要素も備えている。

ゆりかもめ市場前駅にも直結しており、外国人客も多く訪れる。案内板も外国語表記がされている。5年間の来場者数を訪ねたが、集計可能な設備や仕組みはなく、不明とのことだった。飲食店は、市場内にあることから、さぞかしお値打ちなのかな、と思ったところ、びっくりするくらい高額で、それでいてどこも長蛇の列。おいしさや新鮮さを求め、金額は二の次なのかもしれない。いわゆる「観光地価格」のような感じだが、市場内で働いている業者や職員は、高額のためお店で食べることは滅多にないとのこと。対応していただいた都職員は、築地市場でも働いていたそうだが、「狭さと混雑感があったので築地の方が賑わっていたようじ感じる」と言われた。

海に面している本市には大浜漁業協同組合があり、楽しみながら農業と触れ合える体験型交流施設あおいパークがある。敷地の問題や経費の観点から、市単独で豊洲市場のようなことはできないが、ソフト面や広報面で、水産業と農業を共に発展させるための参考になった。